

二大中同窓会報

発行
江東区立
第二大島中学校
同窓会
代表
新保幸男

49期生の同窓会



1月12日の成人式会場(ティアラ江東)での49期の仲間の写真です。(写真提供=加瀬隼人くん)

二大中55周年記念「三同窓会のご案内」



二大中同窓会会長 新保幸男

会員の皆様におかれましては益々ご健勝で活躍のこととお慶びを申し上げます。

私たち4期生は、毎年6月、第2

「集まれる人が集まればいいや」と思って、声をかけたんです」と話してくれたのは後藤竜也くん。

後藤くんは、成人式を前にして、1月10日に同窓会をやろうと思いつき、でも全員に声をかけるのは大変だし無理だから、友達中心に声をかけたのだそうです。だいたい37〜38人の参加予定で、知り合いでもある亀戸の居酒屋「亀太郎」において、午後8時から計画。仲間内のつもりだったので学校の先生方にも連絡はしませんでした。

当日、いろいろなルートから連絡がまわり、出席者は57〜58人に膨れ上がり、40人ほどが定員のお店でしたから、満杯になったとのこと。

「人数が多かったので、幹事としては、てんやわんやで大変でした」と後藤くん。

5年ぶりに会う人もいたし、仕事をしている人、大学に行っている人、結婚して子どもがいる人もいたそうです。「幹事、ご苦労さん」「ありがとう」と何人かがねぎらってくれたそうです。仕事の関係で埼玉・川口市に住んでいる後藤くん、本日に幹事ご苦労さまでした。(事務局記)

週の日曜日を「大島会の日」と定め集まっています。同期生は300名以上ですが、住所不明の者が100名以上います。

今年卒業される方も、クラス幹事を決めて連絡できるよう、先生方のお力ぞえをお願い致します。

二大中創立50周年も4年前に過ぎ、55周年を通過点として、60周年

卒業生の近況報告

3期生

名前の無い「集まり」

50周年記念同窓会の時に所在を確認し、それを機に知った者や、それ以前よりあつまっていた同期の「集まり」を続けています。

2月の新年会は、先生がお二人参加していただけることもあり20余名の集まりになります。話は尽きず、カラオケに行っても歌より話に夢中になることも多く、歌い手に気の毒なこともあります。

元気な者同士、男性女性を問わず、年に2度ほどウォークラリーに参加することもあります。飲み会だ

に盛大な集まりを開催できますように、同窓会も世話人会の組織を強化し「限りなく前進する二大中」をめざし、皆様の協力をお願い致します。

なお、55周年を記念し、左記の予定で「三同窓会」を開催します。お気軽に友人を誘って参加ください。

二大中55周年記念「三同窓会のご案内」

- ◆11月7日(土曜日)午後6時〜
- ◆総合区民センター(西大島)
- ◆倉持眞由美校長先生を囲んで
- ◆軽食を用意します
- ◆会費3000円程度(予定)

けではないのです。

10月には、幹事の大御苦労で近場の公共施設の温泉を利用し、安価の一泊旅行が行われ、10数名が参加します。行きの車中は女性陣の差し入れに花が咲き、男性陣は御相伴に預かる楽しみもあります。

何度会っても話は尽きなく「前期高齢者」となった昨今の話題は、若き頃の話に加え老老介護、孫の世話、自分の体調、年金問題に移ってゆきます。まだ、病院、葬儀、お墓までは間がありそうです。

夢や希望は縮んで行きますが、そこは同期生の集まり、現実を忘れさせてくれる瞬間を求めて「集まり」は続いています。(吉池)



08年 48期生、新成人! 久々の再会

昨年(2009年)の1月14日、私たち48期卒業生は成人式を迎え、大人の二員になることができました。

二大中を卒業して5年。皆、それぞれの道を歩み、一段と輝きを増していたように思います。

さて、成人式のイベントといえは同窓会です。今回は錦糸町の東武ホテルで行いました。

タイトルは、

江東区立第二天島中学校 第48期生の会 第1章 新成人の集まり

記念の日であるということで、幹事が協力しあい、集まったのは70名。二大中の皆が仲が良いなと感心しました。お酒もすすみ、皆が少しずつ打ち解けていき、笑顔で話をしていく姿は、5年前と全く変わってなく、何か心が落ち着くような感覚を得ました。

今回の同窓会は皆にとつてきつと良い思い出になったのではないでしょう。タイトルにもあるように、ここで終わりではなく、まだ「第1章」にすぎません。これから成長していくなかで、また同窓会を開けたら良いなと思います。
次は「第2章」です。(川端剛司)

卒業生の近況報告

4期生

二大中創立55周年おめでとうございます。

私は昭和31年入学、同34年卒業の4期生です。同期は300人前後だったと思います。現在同期会を大島会と称し毎年会を継続しています。近年は隔年毎に泊旅行を開催しています。会では年金、病氣(業)、孫の話は原則禁止としています。我々は1959年卒業ですので、今年が丁度半世紀(50年)になり感慨もひとしおです。在学中は先生を名前前で呼ばず、渾名を付けていました。以下列記しますが、我々前後の方々は分かると思います。カバ、鉄仮面、ルンペン、モヤシ、ダンスケ、ジェット、ガマ、シャリ、チャボ、七面鳥、等々です。先生を愛称で呼ぶことで、教師と生徒の関係がスムーズであつた様に思えます。

話は変わりますが、今年1月に前記のガマこと河内先生(千葉県南房総市在住)を二大中空窓会会長の新保君、曾我部君、同市在住の池上君と4人で訪問しました。先生は今年84歳とのことで耳は遠くなりましたが、大変元気で、天中時代を良く覚えていて、当時の写真を見ながら楽しい一時を過ごしました。

なお、二大中の校章は同先生のデザインであることを初めて知り、二大中創立55周年の歴史の二部を感じた次第です。(柳茂)

5期生

このたびは二大中創立55周年、誠におめでとうございます。

私たち5期生は、二大中を卒業し、早50年。今年度より前期高齢者の仲間入りをする年齢となりました。

今年度はこれを記念(?)し、今後の充実した人生はどうあるべきか等を語り合いたく、同期会を秋に開く計画をしております。

今日までの先生方、および同窓会の関係者の功績を讃え、二大中のますますの発展をお祈り申し上げます。(5期幹事代表 黒坂保光、佐藤イチ子、青木満)

6期生

平成8年に同期会を始めるため名簿作りを開始、同期生は195名ですが、6名の方が亡くなられ、99名が所在不明で90名の名簿を作成しました。一昨年は白血病で女性が亡くなり、何とか残りの人も連絡を取りたいです。

第二回同期会を平成9年3月8日ロッテ会館で開催、70名参加。水谷先生、岡本先生、松永先生も参加いただき35年ぶりの再会となりました。その後第2回同期会を平成10年6月7日開催、参加者40名。

その後も忘年会は毎年必ず開催しています。そのほかに大島に近い20名位は、新年会、ボウリング大会、屋形船の会、砂町の花火等、色々集まっています。

還暦旅行も11名でしたが、一泊で鬼怒川日光に行つてきました。来年は我々も65歳になりますので、温泉で泊まりの同期会を開催予定です。

平成14年からは6期生のゴルフコンペ、大島会を発足し、4組で毎年2回開催しています。今年は4月7日(火)に新千葉でいつも通り4組で開催します。(印出)

なつかしい先生方の近況

がんばれ二大中

福田克彦

(平成8年度～18年度)

現在私は、JR錦糸町駅にほど近い深川第七中学校に勤務しています。

数ヶ月前に大島の町に出向くことがあり、都営大島駅を降りるときに何かワクワクするものがありました。仕事を終え真夜中に帰宅する私の足は、なぜか学校の前に向かっていました。勤務しているときは当たり前のように通った道、当然のように建っている校舎ですが、何故かやたらと懐かしさを感じました。私の足は、校舎の前でやたらとゆつくりと歩を進めていました。

11年間通い続けた二大中。私は、自分の母校として、二大中に誇りを持っていきます。

卒業生の皆さん、そんな素晴らしい学校をつくってくださりありがとうございます。在校生の皆さん、良き伝統を継承してください。

そして、二大中を支えてくださった、地域の方々やPTAの皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

これからも二大中の発展を陰ながらお祈り致します。



宝物

泉嘉穂子

(平成11年度～19年度)

平成18年度卒業生の合言葉は「ありがとう二大中」でした。「ありがとう」の5文字の一つ一つは、例えば「あ」は「挨拶」、「が」は「我慢」というように意味をもっていました。3年間学びあつた母校への感謝の思いを込めた合言葉でした。この卒業生とともに、私は少し早めの退職をしました。翌19年度は学力強化の講師という立場で、1年間お世話になりました。それまでとは少し異なる視点から、益々二大中のよさを感じた1年でした。それは、生徒も教師も保護者・地域の方々の二つになつて、より高い目標に向かっていく姿勢です。二大中が、私の教員生活卒業の学校であることを私は誇りに思っています。

二大中50周年記念誌編集部の一員として、記念誌あとがきに「50年のあゆみを紐解くことは、宝物の中の宝を取り出す作業に似て：(略)」と書かせていただいたことを思い出します。たくさんのお宝、私にとつて、また二大中と二大中に関わる皆さんにとつて、今と未来に大きな力となつていると思います。さて、アラフォーならぬアラカン(アラウンド還暦)世代としては、自身に向けた合言葉は「3K」(感謝・

感動・元気でいこうかなと思つています。

現在は、夫の法律事務所を手伝つていますが、学校とはまた違う世界で、チャレンジングな日々を送っています。改めて基礎・基本を学ぶ中、学校の時間の重要性を外から感じています。

末筆ながら、二大中の益々の発展をお祈り致します。

感謝

富樫祥恵

(平成11年度～19年度)

私の教員生活は第二大島中学校でスタートし、10年間という長い間お世話になりました。思い出すのは地域や保護者の方々をはじめとする周囲の方々の優しさです。

初めて担任を持ち、失敗ばかりの私を、地域や保護者の方々は見守り、支えて下さいました。また、第二子を妊娠中、昼休みに理科室に新聞を敷き横になっていたのですが、ある日新聞紙に何か書いてあるのを見つけました。よく見ると、生徒が「先生無理しないで。」と書いてくれたものでした。私はとても感激しました。このような優しい心を持つた子が育つのは地域や保護者の方々の深い愛情があるからだと思います。その深い愛情の上に学校の教育が成り立っているから、二大中は落ち着いているのだと思います。

また、二大中にどこことなく品があるのも、地域や保護者の方々の協力のおかげで、きめ細かな指導が出来るからだと思います。修学旅行で

卒業生の近況報告

7期生

50周年記念同窓会を皮切りに毎年同期会をしています。昨年11月には早めの忘年会を兼ね集まりました。毎回初めの参加者も大変感激しています。案内状も40数名に出せるまでになりました。7期生は今、定年を迎えた者また年金を受け取れる年齢ですが、これを機に多くの同期生の掘り出しと、既に再開出来た同期会との友好を強めたいと思います。

(世話役：長谷川治澄、杉村直彦)

19期生

私たちはいつまでも若いつもりでしたが、とうとう50歳を迎えてしまいました。そこで、昨年6月に錦糸町のライプハウス、サーティーエイトを3時間の貸し切りで、50歳記念のパーティーを企画しました。

約1年前から準備を始めた所、総勢90名が集まり、15年ぶりに同期会を開催しました。そこで私は中学卒業以来会っていない友人と会うことが出来て、とても楽しかったです。二次会は同級生の店(西大島のよ〜いどん)で、夜遅くまで話をしたり歌ったりと、まるで中学生の頃にタイムスリップした気持ちでした。

毎年、私たちは、12月29日に、同期の忘年会を行っていますが、集まる人はいつも決まったメンバーなので、久しぶりの大がかりな同期会は、大成功でした。

今後は、60歳を目標に頑張りたいと思つています。(佐藤薫)

21期生

毎度お馴染み21期生のいつもと変わらぬ近況報告
21期の気の置けない仲間たちは大島に住まうものも多く、街で見かけては挨拶を交わす面々です。干支が子、丑で年男女を無事に済ませました。そんな連中ですので何かにつけて集まっては四方山話をするのも少しマンネリ気味で、今後はちよつと違ったメンバーに声をかけようとしていこうと決めています。

そうは言っても昨年の大晦日、三日で日本そば屋を営む同期生の通称「アキラ」から、「正月3日に店で飲まないか?」との一斉連絡が入りました。「大晦日にそば屋がそんな事していて大丈夫?」と、皆呆れ半分。また、正月じゃ参加者も少数だろうと考えておりましたが、いざ新年3日になってみると10名もの男どもが家庭を顧みず(笑)集まっておりました。今回は正月という事で(忙しいであろう)女性にはあえて声をかけませんでした。連絡していたなら正月から「三同期会」になっていたかも知れません。そろそろおせち料理にも飽きてきた胃袋と、今年一年また元気で過ごそうとの誓いをいっばいに、二次会に突入していきました。

この3月、また新たな「二大中同窓生」が誕生します。その中に我が21期でも、親子共々の同窓生が何名か仲間入りします。よろしく御願致します。(高瀬満明)

おっかしい先生方の近況(続)

●東京駅に集合したとき、ただ集まっているだけでも品の良さは二大中が一番でした。

このような素晴らしい、地域や保護者の方々の元で私自身いろいろなことを学ぶことができました。二大中で学んだことを宝物にし、これからも日々努力を続けていきたいと思えます。本当にお世話になりました。末筆ながら、今後の二大中のさらなる発展をお祈りいたします。

ホップ、ステップ、そして…

鈴木直哉

(平成12年度〜19年度)

「『学年だより』を毎日作ってみたい」——前任校で出会った「詩」が載っている『学年だより』を…。

そんな願いを叶えてくれたのが、二大中の1年目。「ホップ中毒!」と言われながらも、220号まで発行できた。2年目の「ステップ」は83号、そして…。

3年目、学年が変わり「ステップ」は主任の泉先生が引き継いでくださった。自分なりに「完結」を目指し、その思いを部活(バスケット)に向けた。常にライバルであった一亀中に勝負の夏初めて勝ち、迎えた都大会。三学年の先生方、保護者の方々の応援を受け、延長戦を制して、笑顔で溢れた写真を二階中央廊下に掲げることができたのを嬉しく思う。

今勤務している江戸川区立葛西第三中学校は、各学年6クラス、計

600人を超える大規模校である。そんな中でも自分を見失わず、新たなホップ、ステップ、ジャンプを目指していきたいと思っている。

末筆ながら、二大中の更なる発展をお祈りするとともに、お世話になった多くの方々に感謝申し上げます。

河内先生



若き日の河内先生

永年の思いがやつと実現を致しました。河内武先生宅訪問という企画をし、1月中旬に行ってきました。

先生宅は、千葉県白浜の山中にあり、陶芸家として作品を作っておいででした。現在は休業中です。千葉に住む池上君の案内で、4人で行ってまいりました。

河内先生は、理科の先生で学生時代に行った登山のエピソードから授業に持って行くうまさ、私の記憶に残っていました。二大中創立のころの二大中OBの先生等の思い出に、話がつきず、帰る時刻に成りました。先生は目を赤くされ、手を振りお別れしました。河内先生、お元気で暮らして下さい。

(柳、曾我、池上、新保)

2回目の二大中

私は二大中に帰ってきた。2回目の二大中である。着任早々、私のことを覚えていてくださった方がいらして、君が二大中にいたころは、荒れていたね。今の二大中はとつても落ち着いたよ」と励ましのお言葉をいただいた。そうである。1回目は、どの中学校も生徒数が多く、生活指導が大変な時代であった。しかし、子供たちは逞しく、元氣一杯であった。私は大学を卒業したばかりで、若さはあつても何事も手探りであつたが、学校生活を楽しんでいた。そんな私を二大中が10年間育ててく

二大中校長 倉持眞由美

れた。そして、私は港区、東京都、品川区、葛飾区と長い旅をして二大中に帰ってきた。現在の保護者の中には二大中の卒業生も多い。1回目の未熟な自分を思うと、恥ずかしいことが一杯であるが、逆に、保護者や同窓生の皆さんの多くが校長にエールを送ってくださっていると勝手に思っている。そんな応援団の期待に心えるべく、子どもたちが落ち着いた学校生活を送り、様々な力を身に付けて、同窓生に続く有為な人材が育つ二大中をつくっていく。

不思議な縁

二大中PTA会長 吉葉富雄
同窓会の皆様、二大中PTA会長の吉葉富雄です。

昭和48年3月に卒業して、まさか自分がPTAの会長で母校に戻って来るとは、想像にも出来ませんでした。また、倉持校長先生は私が3年生の時に二大中に新任の先生として赴任され、こうして30数年後、このような形で再会するとは、とても不思議な縁を感じています。

二大中OBのPTA会長として頑張りますのでよろしくお祈りします。

【同窓会役員名】

- (平成21年2月現在)
- 名誉会長 倉持眞由美校長
- 顧問 松土英男(2期)
- 会長 新保幸男(4期)
- 副会長 印出智之(6期)
- 佐々木幸輝(11期)
- 吉葉富雄(18期)
- 高瀬満明(21期)
- 事務局 椎名由里子(10期)
- 会計 佐藤 薫(19期)

編集後記

★倉持校長は二大中で教員生活をスタート。吉葉PTA会長は倉持先生の教え子。二大中同窓会にとって心強い仲間です。

耐震工事を終えた二大中



昨年7月から3カ月間かけて、二大中の耐震工事が行なわれました。窓側の三角の柱がそれです。体育館も耐震工事をしない、補強されました。外壁もきれいになりました。平成21年初めの母校の姿です。